

報告第2号

# 令和4年度 事業計画

## 令和4年度事業計画

我が国は、国民皆保険や優れた医療・保健システムの成果により、人生100年時代を迎えようとしている。2025年にはいわゆる団塊の世代が全て後期高齢者となり、更に2040年頃には団塊ジュニア世代が65歳以上の高齢者となって高齢者人口がピークを迎える一方、既に減少に転じている現役世代の生産年齢人口は、2025年以降減少が加速していく。

このような社会情勢にあって、我が国の医療制度はこれまで、医療のアクセスや質を確保しつつ、持続可能な医療提供体制を確保していくため、医療機能の分化・強化、連携や地域包括ケアシステムの推進、かかりつけ機能の充実等の取組を進めてきたところである。

しかし、今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、医療提供体制に多大な影響が生じ、地域医療の様々な課題が浮き彫りとなり、地域における外来・入院・在宅にわたる医療機能の分化・強化、連携等の重要性が改めて認識されたところである。

これら医療関係者間の適切な連携体制の構築に向け、薬剤師・薬局としては地域における医療・社会インフラとして、調剤のみならずセルフケア・セルフメディケーションを支える一般用医薬品等の提供の充実を図るなど積極的に取り組んでいくことが重要である。

そのため、全ての薬局が健康サポート機能、かかりつけ機能、高度薬学管理機能を発揮するために、薬局機能の充実強化を図るための研修を推進し、行政とも協力して環境整備を図る必要がある。

さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機に我が国のデジタル化の遅れが顕在化したところであり、医療分野におけるICT・デジタル化の推進については、国民の安全を守る薬剤師・薬局の業務に与える影響も見定めて、オンライン資格確認、電子処方箋、電子お薬手帳など国が推進している事業に対し日本薬剤師会を通じて必要な意見を伝えながら、各薬局で適切に取り組めるよう支援する。

合わせて、規制改革、地方分権、国家戦略特区など国の規制改革では、地方自治体や事業者から薬剤師・薬局を巡る種々の議論が行われており、特に、オンライン服薬指導のルールの見直し、専門家不在時のOTC薬販売、調剤業務の委受託などについて、医療安全の確保や責任体制の明確化の視点から注視していく必要がある。

「敷地内薬局」については、医療機関との経済的・機能的な独立に疑義がある事例が増加していることから、適切な医薬分業の基本である医療機関と薬局との構造的・経済的・機能的独立の3原則を基盤とする立場を堅持する。

また、ジェネリック医薬品を中心とする医薬品供給のひっ迫については、患者に必要な医薬品を提供する責務を有する薬剤師・薬局として看過できない重大な問題であると認識しており、医薬品提供体制構築の前提となるメーカーの医薬品生産体制、卸

による流通に対しても、それが安定的かつ医薬品を必要とする薬局等が適切に購入できる体制の構築に向け、日本薬剤師会と連携して対応することが求められる。

新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たないなか、薬剤師会は薬剤師が社会貢献活動を行うプラットフォームであり、薬局は社会インフラであることを認識してこの国難に対応しなければならない。国民へのワクチン接種の協力、環境衛生知識の啓発普及を今後とも進める他その治療薬の医薬品提供体制を構築し、地域住民が必要な検査を行える環境を整備し、医療的ケアにつなげていくことなどを通じ、患者・住民のため、全国の薬剤師・薬局とともに、新型コロナ問題に立ち向かっていきたい。

本年度はこれらの課題に対応するとともに、公益社団法人として日本薬剤師会並びに県内の地域・職域薬剤師会との連携の下、次の事業を実施する。

- (1) 薬学及び薬業の進歩発展に関する事業
- (2) 薬業を通じて医薬品の適正使用等医療貢献に関する事業
- (3) 公衆衛生の普及及び指導に関する事業
- (4) 薬事衛生の普及及び啓発に関する事業
- (5) 地域医療への貢献及び医療安全の確保に関する事業
- (6) 災害時等の医薬品の確保及び供給に関する事業
- (7) 日本薬剤師会等との連携、協力及び支援に関する事業
- (8) 会員の福利厚生事業
- (9) その他会員を対象とした共益に関する事業

## <公益目的事業>

薬剤師の倫理の高揚及び学術の振興を図り、薬学薬業の進歩発展を図ることにより、静岡県民の健康な生活の確保及び向上に寄与する事業

- 1 薬剤師養成のための薬学教育への対応 [定款4条1項1号関連]
  - (1) 認定実務実習指導薬剤師の養成
    - ア 薬学教育協議会認定「認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ」の開催
    - イ 日本薬剤師研修センター認定「認定実務実習指導薬剤師養成講習会」の開催
  - (2) 病院・薬局実務実習東海地区調整機構への参画
  - (3) 静岡県立大学薬学部薬局実務実習への協力
  - (4) 改訂モデル・コアカリキュラムに基づく「認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ」対応の研修等の実施
  - (5) 東海薬学教育コンソーシアムへの協力
- 2 生涯学習の充実・学術活動の推進 [定款4条1項1号関連]
  - (1) 生涯学習の充実
    - ア 日本薬剤師研修センター及び日本薬剤師会が実施する生涯学習事業への協力
    - イ e-ラーニング等による生涯学習・研修システムの検討

ウ 臨床及び疫学研究に関する倫理審査等への対応

(2) 学術活動の推進

ア 第55回日本薬剤師会学術大会（宮城大会）への参加

イ 第55回東海薬剤師学術大会（静岡大会）の開催

3 薬剤師・薬局機能の充実及び医療安全対策の推進

[定款4条1項2号・3号・4号・5号・7号関連]

(1) 健康サポート薬局制度の推進

ア 健康サポート薬局のための技能習得型研修会の開催

イ 健康サポート薬局制度に関する情報の収集及び提供

(2) 「薬と健康の週間」関連事業の推進

ア 「薬と健康の週間」関連事業への助成

イ 日本薬剤師会「薬と健康の週間」統一事業への協力

ウ 医薬品及び健康づくりに関する啓発イベントへの協力

(3) 医薬分業の質的向上を図るための対策

ア 地域連携薬局推進のための医療機関と薬局の連携モデル事業の実施

イ 医薬分業の質的向上を図るための研修会の開催

ウ 緊急避妊に係る診療の提供体制整備への対応

エ 薬機法等への対応

オ 薬局機能充実のための事業継承への対応

カ 次世代薬剤師指導者研修会の開催

(4) 調剤過誤防止対策の推進

ア 調剤過誤防止・医療安全管理に関する情報の収集及び提供

イ 日本医療機能評価機構「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業」への協力

(5) 要指導医薬品・一般用医薬品販売に関する講習会の開催

(6) 「お薬手帳」の普及・推進

(7) 高度管理医療機器等の販売業等に係る継続研修会の開催

4 医薬品等情報活動の推進

[定款4条1項2号・7号関連]

(1) 医薬品情報管理センターの運営

ア 医薬品等に関する情報の収集及び解析

イ 医薬品等に関する情報の会務組織、医療関係者及び関係機関・団体への提供

ウ 患者及び家族等が抱える医薬品等に関する相談・苦情の応需

エ 高齢者医薬品安全使用推進事業の推進

オ 医薬品情報管理センターのあり方の検討

(2) 日本薬剤師会「薬剤イベントモニタリング（DEM）」事業への協力

5 公衆衛生・薬事衛生への対応

[定款4条1項3号・4号・7号関連]

- (1) 学校薬剤師活動の推進
  - ア 医薬品の正しい知識の普及と、薬物乱用防止のための「薬学講座」の実施
  - イ 学校薬剤師講習会の開催
  - ウ 学校保健教育に係る学校薬剤師活動の検討
  - エ 学校環境衛生活動の充実の検討
- (2) 薬局における偽造処方せん及び多重受診患者に関する情報の収集及び対応
- (3) 静岡県の「麻薬・覚醒剤乱用防止運動」「危険ドラッグ撲滅運動」への協力
- (4) スポーツファーマシストによるドーピング防止活動及び教育啓発活動の推進
  - ア 日本アンチ・ドーピング機構「公認スポーツファーマシスト認定制度」への協力
  - イ 静岡県体育協会等によるアンチ・ドーピング活動への協力
  - ウ スポーツファーマシスト・スキルアップ研修会の開催
  - エ スポーツ団体、自治体等へのスポーツファーマシストの派遣
- (5) 新型インフルエンザ等対策への対応
  - ア 新型コロナウイルス感染症対策への対応

6 地域包括ケアシステムを踏まえた地域医療、介護、保健等の提供体制の取り組みの推進 [定款4条1項5号・7号関連]

- (1) 医療計画等各種計画及び医療提供体制等への参加・連携促進
  - ア 薬剤師の医療、介護提供体制への参加、多職種との連携促進
  - イ がん対策
  - ウ 薬剤師認知症対応力向上研修の開催
- (2) 多職種連携（チーム医療）の推進
  - ア 臨床対応研修会の開催
  - イ 在宅医療における褥瘡研修会の開催
  - ウ 在宅医療に関する地域薬剤師会主催の入門・中級研修会等への講師の派遣
  - エ 在宅訪問ファーストステップ研修の実施
  - オ 退院前カンファレンスに関する研修会の開催
  - カ 緩和ケア対応研修会の開催
  - キ 在宅訪問実施可能薬局登録制度の推進
  - ク 「お薬出前講座」（介護支援事業所等向け・一般向け）の実施
- (3) 病院・診療所薬剤師との連携（薬薬連携）の推進の検討
- (4) 在宅医療推進のための環境整備
  - ア 麻薬小売業者間譲渡許可制度等の推進
  - イ 医療材料等供給体制整備の推進への協力
  - ウ 薬剤師確保対策の推進のためのホームページ「薬局で働こう」の運営
  - エ 訪問薬剤管理指導業務の啓発
  - オ 在宅訪問支援活動の推進

- 7 医療保険制度・介護保険制度への対応 [定款4条1項3号・4号・7号関連]
- (1) 調剤報酬・介護報酬請求の適正化
    - ア 調剤報酬等請求等に関する研修会の開催
    - イ 薬歴管理等に関する地域薬剤師会主催の研修会等への対応
    - ウ 東海北陸厚生局実施の保険薬局に対する個別指導において、その措置が「再指導」若しくは「経過観察」であった場合の当該薬局に対する指導の実施
  - (2) 調剤報酬・介護報酬改定に関する情報の収集及び提供
- 8 災害時等の医薬品の確保・供給への対応 [定款4条1項6号・7号関連]
- (1) 災害時における医薬品等の確保・供給のあり方の検討
  - (2) 災害時の救援活動等への準備・対応
    - ア 大規模地震発生時における災害対策本部の立ち上げ及び被害状況調査等に関する防災訓練の実施
    - イ 静岡県総合防災訓練及び地域防災訓練への協力
    - ウ 静岡県災害薬事コーディネーターの養成
    - エ 災害時における携帯電話情報連絡システムの普及
- 9 広報活動の推進 [定款4条1項4号・7号関連]
- (1) 会報の発行
  - (2) 静岡県薬剤師会ホームページの充実
  - (3) 薬剤師職能メディア啓発事業の実施

## <収益事業>

- 1 毒物劇物取扱者試験準備講習会の開催
- 2 斡旋書籍及び諸用紙の販売
- 3 事務室の賃貸

## <管理部門>

- 1 地域・職域薬剤師会の法人化の支援
- 2 会員拡充対策の検討
- 3 地域・職域連絡協議会の開催
- 4 危機管理（災害対策を含む）への対応
- 5 業務のデジタル化の推進
- 6 日本薬剤師会HPKI（Health Public Key Infrastructure：保健医療福祉分野

の公開鍵基盤) 認証局 (薬剤師資格証の発行) への対応

- 7 薬事功労者、学校保健功労者等の表彰及び推薦
- 8 日薬共済部、薬剤師賠償責任保険及びサイバー保険、休業補償保険・長期休暇保障保険、アンチ・ドーピング活動保険、新型コロナウイルス感染症対応日薬店舗休業補償制度、薬剤 (商品) 補償制度への加入の促進
- 9 静岡県医師会、静岡県歯科医師会、静岡県病院協会、静岡県病院薬剤師会、静岡県薬事振興会等関係団体との連携・協力
- 10 静岡県薬剤師会館の管理運営